

平成23年度

大和郡山市教育行政に関する点検評価 報告書

(平成22年度対象)

平成23年12月

大和郡山市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）
第27条第1項の規定に基づき、平成21年度に大和郡山市教育委員会が実施
した教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果について報
告します。

平成23年12月 日

大和郡山市教育委員会
委員長 石川 泰弘

◆ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

	頁
<点検・評価の概要>	1
1 点検・評価の対象	1
2 点検・評価の方法	1
3 点検・評価の審議経過	2
4 大和郡山市教育行政に関する点検評価実施要綱	3
<大和郡山市教育委員会の運営・活動状況>	
1 教育委員会委員の状況	4
2 教育委員会の開催状況	4
3 教育委員会での審議状況	4
4 平成21年度 教育委員会審議案件等一覧表	5
(1) 教育委員会案件（専決事項）	5
(2) 教育委員会審議案件（議事事項）	5
(3) 協議事項	7
(4) 報告事項	8
(5) その他	9
<「大和郡山市第3次総合計画」に基づく施策体系ごとの点検評価（19施策）>	10
●市民と行政が共に参加、参画する地域づくりを進めるまち（協働のまち）	
◎ 市民との協働による自治運営	
○ 市民が相互に交流し理解し合っている	11
○ 地域コミュニティが活発になっている	13
●市民が子供を産み育てやすいまち（子育て・教育）	
◎ 子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり	
○ 安心して子どもを生み、育てることができるまちになっている	15
○ 子どもが健康でいきいきと成長している	17

	頁
◎ 子どもがいきいきと学べる教育環境づくり	
○ 児童生徒がより質の高い充実した学校教育を受けている	19
○ 未就学児を持つ親が子育てに関する不安を解消している	21
○ 青少年がたくましく、心豊かに成長している	23
○ 非行を出さず、不登校を生まない、あたたかく、人がつながり あうまちになっている	25
○ 障害を持つ子どもがその個性や能力に応じた教育を受けている	27
○ 児童生徒が安全・快適な教育環境のもと、教育を受けている	29
○ 児童が安全で美味しい給食を食べ、食に対して正しい知識を身 につけている	31
◎ 子どもが安全に暮らせる地域環境づくり	
○ 子どもにとって安全なまちになっている	33
● 市民誰もがいきいきと元気で暮らしているまち(健康・福祉・生きがいづくり)	
◎ 市民が生きがいを持って暮らせる環境づくり	
○ 文化財が保護・継承されている	35
○ 市民の芸術文化活動が盛んになっている	37
○ 市民の生涯学習活動が盛んになっている	39
○ 市民の国際交流活動が盛んになっている	41
○ 図書館が市民の生涯学習拠点になっている	43
○ 市民がスポーツに親しんでいる	45
◎ 人権文化の息づくまちづくり	
○ 人権教育の充実により人権文化が創造されている	47
● 教育関連の各課施策別事務事業一覧	49

<点検・評価の概要>

1 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、本市の「大和郡山市第3次総合計画」に基づいて策定している62の施策体系のうちから「教育関連施策」のみを抽出し、次に掲げる事務事業・内容についてを点検・評価の対象としました。

点検・評価にあたっての対象年度は、平成22年度としました。

(1) 大和郡山市教育委員会の運営・活動状況

(2) 「大和郡山市第3次総合計画」に基づく施策体系ごとの点検・評価
(19施策)

2 点検・評価の方法

まず、教育委員会の運営・活動状況及び施策体系ごとの事務事業（19施策）等を取りまとめ、実施状況及び実績を明らかにし、今後の課題等を示すため自己評価を行いました。

その後、点検・評価の客観性を確保するため、教育委員会が委嘱した大和郡山市教育行政点検評価委員（教育に関する学識経験を有する者2名）に、ご意見、ご助言をいただきました。大和郡山市教育行政点検評価委員は次のとおりです。

【学識経験者】

(敬称略 五十音順)

氏 名	職 業
尾 川 欣 司	レストランオーナー
長 谷 岩 友	画 家

3 点検・評価の審議経過

- ・平成23年 8月18日（木）

教育委員会関係部署の職員による点検評価の実施説明会を開催し、平成22年度大和郡山市教育行政点検評価シート（案）について協議

- ・平成23年 9月9日（金）

教育委員会関係部署により、大和郡山市教育行政点検評価シートの素案を作成

- ・平成23年10月 6日（木）

大和郡山市教育行政点検評価 第1回検討会議を開催し、外部評価委員2名の知見を活用し、点検・評価を実施

- ・平成23年10月13日（木）

外部評価を受けて、教育委員会関係部署により教育行政点検評価シートに加筆・修正

- ・平成23年10月24日（月）

大和郡山市教育行政点検評価 第2回検討会議を開催し、外部評価委員2名を交え報告書を作成

- ・平成23年11月19日（土）

11月定例教育委員会において、「平成23年度 大和郡山市教育行政に関する点検評価 報告書（平成22年度対象）」を審議し、議決

大和郡山市教育行政に関する点検評価実施要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第27条の規定に基づき、大和郡山市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が実施する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）について、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象及び年度)

第2条 点検及び評価の対象は、法第23条各号に掲げる教育委員会の職務権限に属する事務及び教育施策上の重要課題とする。

2 点検及び評価は、毎年度1回、前年度の前項に規定する事項について行うものとする。

(点検及び評価)

第3条 教育委員会は、教育行政上の施策及び事業の進捗状況を総括し、今後の課題の把握及び方針等の決定に資するため、法第27条第1項の規定に基づき、前条に掲げる事務等の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うものとする。

2 点検及び評価に資するため、教育委員会事務局は、前条に規定する事項について必要な資料を整理する。

3 教育委員会は、点検及び評価において客観性を確保するため大和郡山市教育行政点検評価委員（以下「点検評価委員」という。）を置き、点検及び評価を行う際には、法第27条第2項の規定に基づきその意見を聴取して、その知見の活用を図るものとする。

(点検評価委員の定数及び任期)

第4条 点検評価委員の定数は2名とし、学識経験者のうちから教育委員会が委嘱する。

2 点検評価委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

3 点検評価委員が欠けたときは、その都度、教育委員会が補欠の点検評価委員を選任する。この場合において、当該点検評価委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(市議会への報告等)

第5条 教育委員会は、点検及び評価を行ったときは、その結果を取りまとめた報告書を作成し、大和郡山市議会に提出するとともに、これを公表するものとする。

(庶務)

第6条 点検及び評価の実施に関する庶務は、教育総務課において行う。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

<大和郡山市教育委員会の運営・活動状況>

1 教育委員会委員の状況

(平成 23 年 3 月 31 日現在)

職 名	氏 名	職 業	就任年月日	任 期
委員長	山 本 正 堯	会社役員	H19.12.27	H23.12.26
委員 (委員長職務代理者)	石 川 泰 弘	獣 医	H21.12.21	H25.12.20
委員	浅 井 芳 子	大学教授	H15.12.11	H23.12.10
委員	三 橋 仁 美	医 師	H20.12.10	H24.12. 9
委員 (教育長)	赤 井 繁 夫		H21.6.29	H25. 6.28

2 教育委員会の開催状況・・・平成 22 年度は総計で 13 回開催しました。

- (1) 教育委員会定例会・・・ 10 回
- (2) 教育委員会協議会・・・ 2 回
- (3) 教育委員会臨時会・・・ 1 回

3 教育委員会での審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条及び「大和郡山市教育委員会教育長に対する事務委任規則」第 1 条の規定に基づき、平成 22 年度は総計で 44 件 (うち専決事項 7 件) について審議し議決しました。

同規則 第 1 号案件 (教育に関する一般方針を定める)・・・ 2 件

同規則 第 2 号案件 (教育機関の設置及び廃止に関する事)・・・ 1 件

同規則 第 5 号案件 (県費負担教職員の人事の一般方針を定める)・・・ 1 件

同規則 第 7 号案件 (市職員の人事に関する事)・・・ 2 件

同規則 第 9 号案件 (教育委員会規則の制定及び改廃)・・・ 5 件

同規則 第 10 号案件 (教育予算その他議会の議決を経るべき議案の意見申出)・・・ 15 件

同規則 第 11 号案件 (条例等に定めのある委員の委嘱)・・・ 6 件

同規則 第 14 号案件 (市指定文化財の指定及び解除)・・・ 1 件

同規則 第 18 号案件 (事務の管理及び執行状況の点検並びに評価に関する事)・・・ 2 件

その他・・・ 2 件

平成22年度 教育委員会審議案件等一覧

教育委員会案件(専決事項)

開催月	番号	件名	提出日
4月定例	1	平成21年度大和郡山市一般会計補正予算(第11号)について	4月25日
	2	市職員人事について	
6月定例	1	平成22年度一般会計補正予算(第2号)について	6月26日
	2	公民館運営審議会委員の委嘱について	
7月協議会	1	大和郡山市社会教育委員の委嘱について	7月24日
10月協議会	1	10月1日付 臨時職員の任用について	10月23日
	2	大和郡山市教育行政点検評価委員の委嘱について	

(2)教育委員会審議案件(議事事項)

開催月	番号	件名	提案理由	提出日
4月定例	1	大和郡山市立昭和・筒井小学校耐震補強工事請負契約について	工事請負契約の締結に際し、議会の議決を求めるため	4月25日
	2	大和郡山市立郡山北小学校耐震補強工事請負契約について	工事請負契約の締結に際し、議会の議決を求めるため	
	3	大和郡山市立郡山南・郡山西小学校耐震補強工事請負契約について	工事請負契約の締結に際し、議会の議決を求めるため	
	4	大和郡山市立郡山中学校耐震補強工事請負契約について	工事請負契約の締結に際し、議会の議決を求めるため	
	5	大和郡山市立片桐・矢田南・片桐西小学校耐震補強工事請負契約について	工事請負契約の締結に際し、議会の議決を求めるため	
	6	大和郡山市立郡山西中学校耐震補強工事請負契約について	工事請負契約の締結に際し、議会の議決を求めるため	
	7	体育指導委員の委嘱について	体育指導委員の活動を充実させるため、新たに1名を体育指導委員として委嘱するもの	
5月定例	1	大和郡山市立地域社会教育施設条例の一部改正について	所期の目的が達成されたため、平成22年12月31日付けをもって大和郡山市立椎木町社会教育会館を閉館としたいので、所要の改正を行うもの	5月23日
	2	平成22年度一般会計補正予算について	平成22年度一般会計補正予算を要求するもの	
	3	公民館運営審議会委員の委嘱について	所属団体の変更により、公民館運営審議会委員を委嘱するもの	

6月定例	1	大和郡山市社会教育委員の委嘱について	平成20年度・21年度社会教育委員の任期満了に伴い、平成22年度・平成23年度社会教育委員を委嘱するもの	6月26日
	2	大和郡山市教育行政点検評価委員の委嘱について	平成22年7月24日付任期満了に伴うもの	
8月定例	1	平成23年度使用小学校教科用図書の採択について	平成23年度使用小学校教科用図書を採択するもの	8月17日
	2	大和郡山市認定子ども園条例の制定について	本市が設置する認定子ども園を幼保連携施設として供するため、本条例を制定するものである	
9月定例	1	大和郡山市教育委員会委員長(委員長職務代理を含む)の改選について	平成22年10月14日から平成23年10月13日まで	9月26日
	2	10月1日付職員人事異動	10月1日付市職員人事異動について	
	3	大和郡山市社会教育委員の委嘱について	所属団体の変更に伴い、後任の委員を委嘱するもの	
	4	大和郡山市公民館運営審議会委員の委嘱について	所属団体の変更に伴い、後任の委員を委嘱するもの	
11月定例	1	平成22年度一般会計補正予算について	平成22年度一般会計補正予算を要求するもの	11月20日
	2	筒井城趾保存活用事業用地の買戻しについて	筒井城趾保存活用事業用地の買戻しについて上程するもの	
	3	やまと郡山城ホールの指定管理者の指定について	やまと郡山城ホールの指定管理者の指定期間の終了に伴い、指定管理者の指定を行うもの	
	4	大和郡山市総合公園施設の指定管理者の指定について	平成23年3月31日をもって指定の期間の満了することから、平成23年4月1日以降も引き続き、大和郡山市総合公園施設の指定管理者の指定を行うもの	
	5	大和郡山市西池グラウンド運動施設の指定管理者の指定について	平成23年3月31日をもって指定の期間の満了することから、平成23年4月1日以降も引き続き、大和郡山市西池グラウンド運動施設の指定管理者の指定を行うもの	
	6	大和郡山市立地域社会教育施設の指定管理者の指定について	平成23年3月31日をもって指定の期間の満了することから、平成23年4月1日以降も引き続き、大和郡山市立地域社会教育施設の指定管理者の指定を行うもの	
	7	平成22年度大和郡山市教育行政に関する点検評価報告書について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定により、大和郡山市教育行政に関する点検評価の結果を報告するもの	

12月定例	1	平成23年4月人事異動方針について	平成23年4月人事異動方針を策定するもの	12月24日
1月定例	1	大和郡山市青少年センター設置規則の一部改正について	北和都市青少年関連センター連絡協議会の解散等に伴う文言の整理について、所要の改正を行うもの	1月22日
	2	大和郡山市指定文化財の解除について	大和郡山市指定文化財の解除について上程するもの	
2月定例	1	平成23年度大和郡山市教育行政方針について	平成23年度大和郡山市教育行政方針を策定するもの	2月16日
	2	大和郡山市学校教育の基本方針について	大和郡山市学校教育の基本方針を策定するもの	
	3	大和郡山市西池グラウンド運動施設条例施行規則の一部改正について	大和郡山市総合公園施設に準じ、大和郡山市西池グラウンド運動施設においてもインターネット施設予約システムで様式設定された施設利用申請書および利用許可書を現在使用している様式と併用して使用できるようにするため	
	4	平成22年度一般会計補正予算について	平成22年度一般会計補正予算を要求するもの	
	5	平成23年度教育費予算について	平成23年度教育費予算を要求するもの	
3月臨時	1	平成23年4月教職員人事について	平成23年4月教職員人事について	3月23日
3月定例	1	4月1日付市職員人事異動について	4月1日付市職員人事異動について	3月27日
	2	大和郡山市認定こども園条例施行規則について	大和郡山市認定こども園条例施行規則を制定し、それに伴い附則にて所要の改正を行うもの	
	3	大和郡山市体育指導委員の委嘱について	任期満了により、体育指導委員を委嘱するもの	

(3) 協議事項

開催月	番号	件名	提出日
4月定例	1	学校訪問について	4月25日

(4) 報告事項

開催月	番号	件名	提出日
4月定例	1	平成21年度中学校弁当配食事業の各中学校の月別注文個数及び1日の平均注文個数について	4月25日
5月定例	1	大和郡山市立幼稚園保育料及び入園料条例施行規則の一部改正について	5月23日
	2	大和郡山市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について	
	3	平成23年度幼稚園・認定こども園治道幼稚園入園児募集について	
	4	各種教員研修会の実施計画について	
	5	市学校教育指導委員について	
6月定例	1	青少年センター指導委員及び指導委員の委嘱について	6月26日
	2	平成21年度 公民館利用者数について	
7月協議会	1	平成22・23年度 市指定研究学校について	7月24日
	2	第61回県民体育大会(ならスポーツフェスティバル)について	
	3	第60回市民体育(水泳の部)について	
	4	平成21年度学校給食費会計収支決算について	
	5	子ども読書活動推進委員会委員の委嘱について	
	6	「大和郡山市子ども読書活動推進計画」の進捗状況について	
9月定例	1	大和郡山市立幼稚園入園受付状況について	9月26日
	2	認定こども園募集について	
	3	平成22年度各公民館後期主催講座・正月講座について	
10月協議会	1	認定こども園入園受付状況について	10月23日
11月定例	1	市内幼稚園及び認定こども園 入園受付人数について(11月1日現在)	11月20日
	2	平成22年度 第57回大和郡山市芸術祭について	
	3	「大和郡山市子ども読書活動推進計画」について	
	4	「おはなし音楽会」について	
12月定例	1	公民館(5館)・体育館(三の丸会館)照明器具エコ替業務の入札について	12月18日
	2	「第5回リ・ブックフェア」の結果について	
2月定例	1	平成23年度4月教職員人事調書の概要について	2月16日
3月定例	1	平成22年度 各公民館年間・前期主催講座について	3月25日
	2	平成22年度 学校給食カレンダーについて	3月25日
	3	平成22年度 学校給食年間指導計画について	3月25日

(5)その他

開催月	番号	件名	提出日
4月定例	1	市民体育大会の開催について	4月25日
	2	平成21年度図書館利用状況について	
5月定例	1	教科書採択までの日程について	5月23日
	2	学校訪問日程変更について	
	3	大和郡山市教科用図書選定委員会委員について	
	4	市指定研究学校園について	
6月定例	1	安全を誓う日について	6月26日
	2	夏休み親子料理教室開催について	
	3	給食センター夏休み親子見学会開催について	
7月協議会	1	教科書採択委員会の開催について	7月24日
8月定例	1	運動会の日程について	8月17日
	2	第41回市民陸上競技大会の開催について	
9月定例	1	指定研究学校・園について	9月26日
	2	トライスポーツフェスティバル2010の開催について	
	3	平成22年度 第57回大和郡山市芸術祭の開催について	
10月協議会	1	第36回親子まつりについて	10月23日
11月定例	1	第2回大和郡山市小学校子ども駅伝大会について	11月20日
	2	図書館年報について	
12月定例	1	成人式について	12月18日
1月定例	1	平成22年度小中学校卒業式の出席について	1月22日
	2	第7回記憶力大会について	
	3	第20回郡山女のまつりについて	
	4	第15回こおりやま歴史フォーラムについて	
	5	第39回大和郡山市民マラソン大会の開催について	
2月定例	1	郡山西中学校校歌銘板寄附に対する感謝状の贈呈について	2月16日
	2	卒業式の告辞について	
	3	大和郡山市立図書館資料の施設返却サービスについて	

＜「大和郡山市第3次総合計画」に基づく施策体系ごとの点検評価＞ (19施策)

● 凡 例

- 「大和郡山市第3次総合計画」の62施策体系から教育関連施策のみを抽出し19施策について点検評価を実施した。
- 教育行政「点検・評価」シートは、1施策について、見開き2ページを原則とした。
- 教育行政「点検・評価」シートの担当課が複数に亘る場合についても、1施策ごとに分類し、内容を記載した。
- 教育行政「点検・評価」シートごとに、事業の各担当課が次の内容で記載した。
 1. 第3次総合計画（前期基本計画 平成18年～22年度）における位置づけを掲載した。
 2. 前年度（平成22年度）の主な取組みとして、事業概要と実績を掲載した。
 3. 評価および今後の課題等として、自己評価を行い、今後の課題等を掲載した。
(参考) 自己評価 A 当初計画を大きく上回って達成できた
 B 概ね当初計画どおり達成できた
 C 当初計画を大きく下回った
 4. 外部評価として、個別の対象事業に対して学識経験者から意見・助言等をいただき、「施策展開上の留意点」として最後に掲載した。
- なお、教育委員会の各課すべての施策別事務事業については、巻末に事務事業一覧として掲載した。

※ 事務事業コード (例) 3 02 06 01

↓ ↓ ↓ ↓

第3次総合計画の 章 節 施策 各課の任意の通し番号 を表す

- 「大和郡山市第3次総合計画」の詳細については、大和郡山市のホームページ (<http://www.city.yamatokoriyama.nara.jp>) を参考にされたい。

大和郡山市 教育行政 点検評価シート

1. 第3次総合計画(前期基本計画 平成18年～22年度)における位置付け

章	1.市民と行政が共に参加、参画する地域づくりを進めるまち(協働のまち)	▼
節	01.市民との協働による自治運営	▼
施策	03.市民が相互に交流し理解し合っている	▼

2. 前年度(平成22年度)の主な取組み

事業名 (担当課)	前年度(平成22年度)取組み	
	事業概要	実績
親子まつり事業 (生涯学習課)	親と子が秋空のもとに集い、健全なレクリエーションを通して、健康で文化的な人間性を養い、市民相互の連帯感を深め、市民の手による地域づくり・ふるさとづくりの一助に資することを目的として、毎年11月3日の祝日に開催。	開催日:平成22年11月3日(文化の日) 主催 :親子まつり運営委員会 及び実行委員会64団体 テーマ:ぬくもり～ふっとまつり～ 主な催し: メインイベント(ふっとまつり) 各種クラフト 親子まつりパレード 親子まつり太鼓 親子まつりステージ お手玉大会 人形劇 模擬店 ミニ動物園 ふあふあ ミニSL など
各公民館祭支援事業 (中央公民館・南部公民館・各地区公民館)	館クラブ協議会の自主運営により、各クラブが作品展示・体験発表・実技発表・バザー・模擬店等を(9月～11月)にわたり実施。年1回	三の丸祭(延べ2,190人) 南部祭(延べ3,403人) 昭和地区公民館まつり(延べ650人) 片桐地区公民館まつり(延べ3,000人) 治道地区公民館まつり(延べ500人) 平和地区公民館まつり(延べ550人)
公民館クラブ活動支援振興事業 (中央公民館)	公民館クラブ連絡協議会自主運営により、全公民館のクラブ紹介啓発、公民館間の同種クラブの交流会、各館選抜クラブによる公民館フェスティバル、広く市民も参加できる教養講座・人権教育研修会等を行う。	公民館フェスティバル(延べ420人) 教養講座(190人) 人権教育研修会(145人) 公民館間の同種クラブ交流会(244人)

3. 評価および今後の課題等

事業名 (担当課)	評価	今後の課題等
親子まつり事業 (生涯学習課)	A	企画運営を市民の手で行っていることがこの事業の特徴となっている。担い手である親子まつり運営委員について、近年は成人式スタッフ経験者が運営委員として参加しており、これを継続するなど運営委員の確保に努めていきたい。
各公民館祭支援事業 (中央公民館・南部公民館・各地区公民館)	B	実績内容だけにとどまらず、各公民館クラブ連絡協議会で、なお一層の発展を目指して努力する。
公民館クラブ活動支援振興事業 (中央公民館)	B	公民館フェスティバルについては、参加人数をもっと多くなるように各館で努力することが必要である。

4. 外部評価(施策展開上の留意点)

事業名 (担当課)	評価
親子まつり事業 (生涯学習課)	長く続いているすばらしい事業である。教育をベースにしているため、品格を感じ誇れる良いまつりである。成人式スタッフを親子まつりのスタッフに取り込んだり、高校生を学生サポーターとして活用するなど若い人たちの力を得られていることを評価するとともに、こうした若い人たちのネットワークづくりを行政としてサポートしてほしい。
各公民館祭支援事業 (中央公民館・南部公民館・各地区公民館)	各公民館祭を活発に実施されていることは、評価に値する。今後も積極的に地域力の向上に推進されるよう一層努められたい。
公民館クラブ活動支援振興事業 (中央公民館)	各種クラブ活動を通じて、公民館間のクラブ交流会や教養講座等を積極的に実施されていることは、評価に値する。今後はクラブ員に役割等を与えることにより人は必ず動いてくれるので、より一層のクラブ員の活躍を期待したい。

大和郡山市 教育行政 点検評価シート

1. 第3次総合計画(前期基本計画 平成18年～22年度)における位置付け

章	1.市民と行政が共に参加、参画する地域づくりを進めるまち(協働のまち)	▼
節	01.市民との協働による自治運営	▼
施策	04.地域コミュニティが活発になっている	▼

2. 前年度(平成22年度)の主な取組み

事業名 (担当課)	前年度(平成22年度)取組み	
	事業概要	実績
青少年リーダー研修 (生涯学習課)	地域の核となって子どもたちをリードできるジュニア・リーダーや青少年リーダーを育成するため、各種リーダー研修を開催。 ・初級ジュニアリーダー研修 小学5・6年生 ・上級ジュニアリーダー研修 中学生 ・シニアリーダー研修 高校生・大学生	・初級ジュニアリーダー研修(少年自然の家) 1回目 H22.8.19～20 39人 2回目 H23.3.19～20 72人 ・上級ジュニアリーダー研修(国立普爾少年自然の家) 1回目 H22.8.26～28 11人 2回目 H23.3.25～27 8人 ・シニアリーダー研修(県立青少年野外活動センター) 1回目 H22.8.3～5 5人 2回目 H23.3.5～6 4人
各公民館施設貸与事業 (中央公民館・南部公民館・各地区公民館)	地域コミュニティの拠点としての施設(ホール・会議室等)の貸館業務を行う。	公民館利用者数6館分合計 384,755人 年間開館日数 294日 三の丸会館 149,437人 南部公民館 83,713人 昭和地区公民館 24,725人 片桐地区公民館 72,032人 治道地区公民館 15,622人 平和地区公民館 39,226人
各公民館施設維持管理事業 (中央公民館・南部公民館・各地区公民館)	施設運営に必要な電気・水道・ガスの確保、施設維持管理、各種建築設備の保守点検・施設清掃・施設警備の委託、機能的で快適な利用のための各種物品の借上げ、建築等保険の加入等を行う。	例年どおり施設維持管理を実施した。
南部公民館・片桐地区公民館喫茶コーナー運営事業	年間を通して公民館クラブ協議会の運営のもと、利用者の憩いの場や交流の場を提供する。売り上げは、歳入として収納する。	南部公民館 利用者数 13,260人 売上金額 2,996,280円 片桐地区公民館利用者数 6,536人 売上金額 1,553,430円
各公民館照明器具エコ替え業務事業 (中央公民館・南部公民館・各地区公民館)	中央公民館体育館及び公民館の旧蛍光灯を省エネ設備に改修し、電力使用を低減させ、排出二酸化炭素(CO2)の削減を図る。	中央公民館体育館では、水銀灯をセラミックメタルハライドランプに交換し、中央公民館以外の各公民館棟では、蛍光灯器具のエコ替えを実施した。

3. 評価および今後の課題等

事業名 (担当課)	評価	今後の課題等
青少年リーダー研修 (生涯学習課)	B	各種研修会への参加者数が横ばいもしくは減少傾向にあり、シニアリーダーの人数も同じ状況にある。研修会への参加者数の増加を図り、地域で指導的な役割を果たす人材の養成を進めていきたい。
各公民館施設貸与事業 (中央公民館・南部公民館・各地区公民館)	B	利用者が快適に利用できる環境の公民館を目指して、市民サービスを担う職員の接遇をレベルアップし、利用率向上に努めたい。
各公民館施設維持管理事業 (中央公民館・南部公民館・各地区公民館)	B	各公民館共に、施設の老朽化が激しいため、施設維持管理に苦慮しているのが、現状です。公民館蛍光灯のエコ替えに伴い、電気使用量を削減する予定です。光熱水費の使用量を毎翌月に決算見込みを作成し、データ管理を実施したい。
喫茶コーナー運営事業 (南部公民館・片桐地区公民館)	C	公民館の利用者数の増加に努め、また喫茶コーナーでのメニューを工夫しながら、収入増に努めたい。
各公民館照明器具エコ替え業務事業 (中央公民館・南部公民館・各地区公民館)	B	なお一層の省エネ効果を向上できるように努力したい。

4. 外部評価(施策展開上の留意点)

事業名 (担当課)	評価
青少年リーダー研修 (生涯学習課)	参加者が減少傾向にあるのが気がかりである。地域社会にとってこども力は欠かすことのできないものである。魅力ある講師など研修の中身づくりやPRの方法などにも配慮して、参加しやすいきっかけづくりに一層の努力を期待したい。
各公民館施設貸与事業 (中央公民館・南部公民館・各地区公民館)	利用者が快適に利用できる環境を維持されていることは、評価する。今後もなお一層努力願いたい。
各公民館施設維持管理事業 (中央公民館・南部公民館・各地区公民館)	日々施設維持管理に於いて努力されている事は、評価する。今後もなお一層努力願いたい。
南部公民館・片桐地区公民館喫茶コーナー運営事業	利用者増や売上増に努力されていると思われるが、なかなか結果として表れてこない。抜本的な改革が必要である。例えば、喫茶コーナーの代わりに自動販売機を設置するなど、いろんな案を検討してみてもどうか。
各公民館照明器具エコ替え業務事業 (中央公民館・南部公民館・各地区公民館)	公民館の省エネ事業を実施されたことは、評価に値する。省エネ効果の数字を公表することで、職員・市民・利用者の意識が変化し、なお一層の省エネ意識が向上する。

大和郡山市 教育行政 点検評価シート

1. 第3次総合計画(前期基本計画 平成18年～22年度)における位置付け

章	3.市民が子供を産み育てやすいまち(子育て・教育)	▼
節	01.子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり	▼
施策	01.安心して子どもを生み、育てることができるまちになっている	▼

2. 前年度(平成22年度)の主な取組み

事業名 (担当課)	前年度(平成22年度)取組み	
	事業概要	実績
放課後子ども教室 (生涯学習課)	全ての小学生を対象として、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て子どもたちとともに、勉強やスポーツ、文化活動、地域住民等との交流活動等の取り組みを推進する。	市内11小学校で教室を開設 1校あたり週1・2日(年間35日・70日)平日の放課後に実施 登録児童数: 844人 指導者数: 86人 のべ日数: 422日 のべ参加児童数: 15,627人

3. 評価および今後の課題等

事業名 (担当課)	評価	今後の課題等
放課後子ども教室 (生涯学習課)	A	地域によって指導者が少ない教室もあり、子どもの安全を確保するためにも指導者を十分確保する必要がある。

4. 外部評価(施策展開上の留意点)

事業名 (担当課)	評価
放課後子ども教室 (生涯学習課)	この事業は各学年の子どもが一緒になって活動や勉強することに意義がある。あまりイベントにばかり目を奪われることのないよう配慮して実施されたい。 ボランティアの受け入れについては、受ける際の取り決めや教育委員会から委嘱書を交付するなど行政の関わりは必要であると思われる。

大和郡山市 教育行政 点検評価シート

1. 第3次総合計画(前期基本計画 平成18年～22年度)における位置付け

章	3.市民が子供を産み育てやすいまち(子育て・教育)	▼
節	01.子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり	▼
施策	04.子どもが健康でいきいきと成長している	▼

2. 前年度(平成22年度)の主な取組み

事業名 (担当課)	前年度(平成22年度)取組み	
	事業概要	実績
園児・児童・生徒保健事業 (スポーツ健康課)	園児・児童・生徒健康診断 就学時健康診断・入園前健康診断 歯科衛生講習会(歯みがき講習会)	内科・歯科・眼科・耳鼻科・尿・心臓等12項目 対象幼児児童生徒数 8048名 内科・歯科・視力聴力等7項目 就学時727名・入園前351名 毎年年間3～4幼稚園で実施(3年間で全園) 郡山南・筒井・矢田・治道の4園
教職員検診事業 (スポーツ健康課)	一般検診 婦人科検診	内科・身体測定・血液・尿・心臓等11項目 受診者数 221名(総合判定受診者数) 乳がん検診 受診 17名 子宮がん検診 受診 36名
就学援助事業 (スポーツ健康課)	就学援助費の支給対象となる児童生徒に対し、学校保健法で定められた疾病を学校検診で指摘された場合、医療券を発行し医療費の実費援助を行う。また、学校給食費の実費援助を行う。	医科 64件 203,300円 歯科 127件 847,259円 調剤 52件 217,200円 (合計) 243件 1,267,759円 学校給食費 29,397,772円(1食250円)

3. 評価および今後の課題等

事業名 (担当課)	評価	今後の課題等
園児・児童・生徒保健事業 (スポーツ健康課)	B	各健康診断の充実に努める一方、子どもたちを取り巻く環境が複雑化している中で、自分の健康についての意識向上のための働きかけをする必要がある。 また、先般の新型インフルエンザのような感染症への対策も重要であり、防疫用品の備蓄・日常予防の啓発を行っているが、緊急時には関係機関と連携のうえ、より迅速・適切に対応できる体制づくりが必要である。
教職員検診事業 (スポーツ健康課)	B	各健康診断の充実に努める一方、学校における幼児児童生徒の人的環境として、教職員の健康維持の重要性への理解を得ながら、受診啓発により一層取り組む必要がある。
就学援助事業 (スポーツ健康課)	B	医療券の発行から医療費の実費援助に至るまでの手続きを、学校・医療機関との連携を強化して、よりスムーズに行う必要がある。

4. 外部評価(施策展開上の留意点)

事業名 (担当課)	評価
園児・児童・生徒保健事業	幼児・児童・生徒の健康について、健康診断等の実施により健康維持が図られ、また、感染症対策についても拡大防止に取り組まれていることを評価するとともに、今後も季節毎に流行する感染症と突発的に発生する感染症、双方に対して各校園と連携し迅速・適切な予防対策により一層努められたい。
教職員検診事業	各種健康診断により健康維持が図られていることを評価するとともに、今後もさらに各種健診受診率が上がるよう周知により一層努められたい。

大和郡山市 教育行政 点検評価シート

1. 第3次総合計画(前期基本計画 平成18年～22年度)における位置付け

章	3.市民が子供を産み育てやすいまち(子育て・教育)	▼
節	02.子どもがいきいきと学べる教育環境づくり	▼
施策	01.児童生徒がより質の高い充実した学校教育を受けている	▼

2. 前年度(平成22年度)の主な取組み

事業名 (担当課)	前年度(平成22年度)取組み	
	事業概要	実績
少人数学級編制推進事業 (学校教育課)	1クラス40人定員を緩和し、少人数でのクラス編制を実施することで、よりきめ細かい教育を推進する	小学校16学級、中学校7学級に実施 ・児童生徒の生活面や学習面など、きめ細かく観察できた ・個別指導がやりやすくなり、基礎、基本の定着が図れた
英語指導助手派遣事業 (学校教育課)	外国語教育を充実し、地域における国際交流の推進を図る	JETプログラムのALTと直接雇用のALTの計2名を配置
就学奨励費支給事業 (学校教育課)	市立小中学校に在学し、経済的に困っている者、特別支援学級に在籍あるいは通級指導教室へ通級する児童・生徒の保護者に対し、就学奨励費を支給する	要保護・準要保護認定者数 小学校764名、中学校464名 特別支援教育認定者数 小学校43名、中学校11名
小中学校コンピュータ機器活用事業 (学校教育課)	情報教育のより一層の充実を図る	小中学校16校に各42台を整備済み。

3. 評価および今後の課題等

事業名 (担当課)	評価	今後の課題等
少人数学級編制推進事業 (学校教育課)	A	生徒指導、教育相談等での、きめ細かな対応を可能とするため、より一層の推進を図る必要がある
英語指導助手派遣事業 (学校教育課)	B	ALTを増員し、より一層の充実を図る必要がある
就学奨励費支給事業 (学校教育課)	B	平成17年度から「三位一体の改革」による国庫補助負担金改革として、「準要保護児童援助費補助金」が廃止され、税源移譲となったことにより今までの補助金として確定した額が見込めなくなったが、本市では厳しい社会情勢を考慮し引き続き現在の基準を維持したい
小中学校コンピュータ機器活用事業 (学校教育課)	B	市内小中学校への整備が完了したため、今後は教育用ソフトの充実を図っていきたい

4. 外部評価(施策展開上の留意点)

事業名 (担当課)	評価
英語指導助手派遣事業 (学校教育課)	今日の時代、英語教育は大切である。市がALTを増員し、2名体制としたことは評価できる。今後は、市内の外国人をボランティアとして活用してはどうか。また、ボランティアの意識を高めるため委嘱書を交付する等のシステム作りも検討していただきたい。
就学奨励費支給事業 (学校教育課)	現在の社会情勢を考えると必要な事業である。しかし、市の財政事情を考えると、現在の高い認定基準を維持することは厳しいが、今後も努力していただきたい。
小中学校コンピュータ機器活用事業 (学校教育課)	情報化に対応する学校教育の推進に向けて、パソコン教室の情報機器を充実していただいていることは評価できる。今後も、児童生徒の情報機器活用能力等の育成に努めていただきたい。機器については、高いパソコンを導入していることはないか。もっと安価な機種を活用できないか検討していただきたい。

大和郡山市 教育行政 点検評価シート

1. 第3次総合計画(前期基本計画 平成18年～22年度)における位置付け

章	3.市民が子供を産み育てやすいまち(子育て・教育)	▼
節	02.子どもがいきいきと学べる教育環境づくり	▼
施策	02.未就学児を持つ親が子育てに関する不安を解消している	▼

2. 前年度(平成22年度)の主な取組み

事業名 (担当課)	前年度(平成22年度)取組み	
	事業概要	実績
特別支援幼稚園児保育支援事業 (学校教育課)	特別支援を必要とする園児に、幼児期にふさわしい生活の展開と個々に合った健全な保育を充実し、推進を図る	4名常勤講師を雇用。特別に配慮を要する幼児の在園する11園に4名で巡回
市立幼稚園運営事業 (学校教育課)	幼稚園講師雇用、幼稚園教育研究会費、その他幼稚園の運営	常勤講師22名を雇用し11園に配置

3. 評価および今後の課題等

事業名 (担当課)	評価	今後の課題等
特別支援幼稚園児保育支援事業 (学校教育課)	B	幼稚園における個別支援を要する幼児に対し、巡回指導を通して幼児の自立を支援するために、加配講師の増員を図っていきたい
市立幼稚園運営事業 (学校教育課)	B	職員比率を上げていきたい

4. 外部評価(施策展開上の留意点)

事業名 (担当課)	評価
市立幼稚園運営事業 (学校教育課)	園児にとって望ましい教育環境の充実を図りながら、学習や遊びを通じて園児が発達に必要な経験を得られるよう家庭や地域社会との連携を図っていただいている。今後の課題としては、職員比率をいかに上げていくか、市教育委員会だけの判断でできることではないと思うが、今後も努力していただきたい。

大和郡山市 教育行政 点検評価シート

1. 第3次総合計画(前期基本計画 平成18年～22年度)における位置付け

章	3.市民が子供を産み育てやすいまち(子育て・教育)	▼
節	02.子どもがいきいきと学べる教育環境づくり	▼
施策	03.青少年がたくましく、心豊かに成長している	▼

2. 前年度(平成22年度)の主な取組み

事業名 (担当課)	前年度(平成22年度)取組み	
	事業概要	実績
新成人の集い 「成人式」 (生涯学習課)	新成人による新成人のための成人式を開催することを目的に、新成人の中からスタッフを募集し、企画・運営等について協議を行い成人式を開催する。	平成23年1月10日(祝日) 会場:やまと郡山城ホール(大ホール) テーマ:「わ～いままでのきずな これからの絆～」 参加:新成人695人参加(対象者966人) 参加率72%
子ども会育成 (生涯学習課)	子ども会主催事業への参加や地域行事への参加を通して子ども達の健全育成を図る。	主催事業 ドッジボール大会・ビーチボールバレー・スケートツアーほか 共催事業 やまと夏まつり・親子まつりほか
科学教室開催 (生涯学習課)	発明や工作などの科学的体験の場を提供し、子ども達の創造力と科学的素養を養い、市の科学教育をより発展させる。 少年少女発明クラブ・親子の手作り教室・パソコン教室・一日工作教室等の開催。	・少年少女発明クラブ:15回開催 241人参加 ・親子の手作り教室:13回開催 230人参加 ・パソコン教室:21回開催 255人参加 ・高専教室:2回開催 54人参加 ・一日工作教室:3回開催 52人参加
青少年非行防止 (生涯学習課)	青少年の非行防止、安全・安心のため、関係機関・団体が構成する青少年補導協議会を支援する。	各中学校区青少年健全育成協議会 5協議会に委託し、研修会、啓発活動、交通安全運動、巡回指導等を実施
少年自然の家維持管理運営事業 (生涯学習課)	豊かな自然環境の中で仲間と宿泊生活を共にしながら、野外活動、自然体験や創作活動などを通して、より豊かな情操と社会性を育み、心身共に健康な青少年を育成する。	利用団体数 317件 利用延べ人数 14,282人 ・主催事業 年6回 ケーキ作り他 235人 ・陶芸教室 子ども教室 年9回 59人 など

3. 評価および今後の課題等

事業名 (担当課)	評価	今後の課題等
新成人の集い「成人式」 (生涯学習課)	A	新成人からスタッフを募集し、そのスタッフに企画から運営までを行ってもらい、思い出に残る成人式を開催する。
子ども会育成 (生涯学習課)	B	学校での異学年の交流がほとんどなくなってしまった子ども達に対し、子ども会では、様々な活動を通して、1年生から6年生までが縦の集団となって活動し、上級生と下級生が連携して人間関係やそれぞれの個性を育成できる場を提供する。
科学教室開催 (生涯学習課)	B	遊びが多種多様となっている中で、興味をもってもらえるような内容を心掛けるとともに、自分で考える力を養っていけるよう、教室の運営に努めていきたい。
青少年非行防止 (生涯学習課)	B	子どもたちに与える環境の変化に伴って、青少年の非行が多様化しており、行政・地域・関係機関が連携を密にし、多様化する非行の防止を図る。
少年自然の家維持管理運営事業 (生涯学習課)	B	少子化しつつある青少年の利用、サービスの充実を図るとともに、地域の高齢者の方々やホームデイサービス、家族グループ等多種多様な団体にも多目的に利用していただけるよう、施設の開放化・活性化を図っていく。

4. 外部評価(施策展開上の留意点)

事業名 (担当課)	評価
新成人の集い「成人式」 (生涯学習課)	スタッフの企画によって実施されていることは素晴らしいことだと思う。一方、市の規模を考えれば予算が少ないように思われる。例えば式典のDVDなど、新成人にとって何か記念となるものを渡してあげるなど、予算面も含めて工夫をしてほしい。
科学教室開催 (生涯学習課)	教室に参加している子どもたちをもっとクローズアップするなど、教室への参加意欲を高めることに一層の努力を期待したい。

大和郡山市 教育行政 点検評価シート

1. 第3次総合計画(前期基本計画 平成18年～22年度)における位置付け

章	3.市民が子供を産み育てやすいまち(子育て・教育)	▼
節	02.子どもがいきいきと学べる教育環境づくり	▼
施策	04.非行を出さず、不登校を生まない、あたたかく、人がつながりあうまちになっている	▼

2. 前年度(平成22年度)の主な取組み

事業名 (担当課)	前年度(平成22年度)取組み	
	事業概要	実績
不登校対策事業 (学校教育課)	学科指導教室「ASU」において、不登校児童・生徒が「生きる力」を身につけていけるよう、学習活動を行う新たな教育の場を提供する	19名が在籍。内、中学卒業生8名全員が高校進学
児童・生徒悩み相談事業 (学校教育課)	児童・生徒に対するカウンセリング、教職員・保護者への支援・助言 等を行う	中学校5校に、臨床心理士資格を持つ者、もしくは臨床心理士に準ずる者を「スクールカウンセラー」として配置する

3. 評価および今後の課題等

事業名 (担当課)	評価	今後の課題等
不登校対策事業 (学校教育課)	A	引きこもり状態の児童生徒が、地域の学校や学科指導教室「ASU」へ通室できるよう、引き続き学習の場の提供を行っていききたい
児童・生徒悩み相談事業 (学校教育課)	B	学校だけではどうしても解決できない問題や、幼児期からの子どもの発達に関わる支援や、家庭での親のあり方などに対し、専門的な意見を参考に問題を解決したり、親にアドバイスしていくためには、スクールカウンセラーの専門的見地からの助言は欠かすことができないと考えており、今後もスクールカウンセラーの配置日数等の充実を図っていききたい。

4. 外部評価(施策展開上の留意点)

事業名	評価
児童・生徒悩み相談事業 (学校教育課)	教職員のメンタルヘルスが深刻な問題となっている。校園長会でガイドラインを作成できないか検討していただきたい。また、今後も時間・期間を費やし対応していただきたい。

大和郡山市 教育行政 点検評価シート

1. 第3次総合計画(前期基本計画 平成18年～22年度)における位置付け

章	3.市民が子供を産み育てやすいまち(子育て・教育)	▼
節	02.子どもがいきいきと学べる教育環境づくり	▼
施策	05.障害を持つ子どもがその個性や能力に応じた教育を受けている	▼

2. 前年度(平成22年度)の主な取組み

事業名 (担当課)	前年度(平成22年度)取組み	
	事業概要	実績
心身障害児童・生徒 就学指導事業 (学校教育課)	教育上特別支援を必要とする幼児・児童・生徒に 対して適切な就学を支援する	特別支援学級入級児童生徒数 小学校:70名 中学校:31名
特別支援教育支援員 派遣事業 (学校教育課)	教育上特別の支援を必要とする児童生徒に支援 員を配置し、日常生活動作の介助、学習活動上の サポート等を行うことにより、適切な教育の実施を 推進する	特別支援教育支援員数 小学校:21名 中学校:4名

3. 評価および今後の課題等

事業名 (担当課)	評価	今後の課題等
心身障害児童・生徒 就学指導事業 (学校教育課)	B	幼児・児童・生徒の観察と指導、保護者との相談、関係機関との連携を深め、障害を有する幼児・児童・生徒に適正な就学指導を行える現在の体制を維持していきたい。
特別支援教育支援員 派遣事業 (学校教育課)	A	毎年、特別に配慮を要する児童・生徒の数が増加していることから、特別支援教育支援員のより一層の増員を図りたい

4. 外部評価(施策展開上の留意点)

事業名 (担当課)	評価
心身障害児童・生徒 就学指導事業 (学校教育課) 特別支援教育支援員 派遣事業 (学校教育課)	支援を要する子どもは、様々なタイプがあり、対応も多岐にわたる。一人一人に行き届いた支援ができるよう、今後も努力していただきたい。

大和郡山市 教育行政 点検評価シート

1. 第3次総合計画(前期基本計画 平成18年～22年度)における位置付け

章	3.市民が子供を産み育てやすいまち(子育て・教育)	▼
節	02.子どもがいきいきと学べる教育環境づくり	▼
施策	06.児童生徒が安全・快適な教育環境のもと、教育を受けている	▼

2. 前年度(平成22年度)の主な取組み

事業名 (担当課)	前年度(平成22年度)取組み	
	事業概要	実績
小学校施設維持管理業務 (教育総務課)	小学校施設の耐震化 小学校施設の維持管理	市内11校全校完了 シャワールームの設置 (郡山北・平和・矢田・矢田南) *全校設置済
中学校施設維持管理業務 (教育総務課)	中学校施設の耐震化 中学校施設の維持管理	郡山中・郡山西中 市内5校全校耐震化完了 屋内運動場改築工事 郡山西中
幼稚園施設維持管理業務 (教育総務課)	治道認定こども園増改築工事	平成23年度より0歳児からの受入のため、 厨房等の増改築および食器・保育用品の購入

3. 評価および今後の課題等

事業名 (担当課)	評価	今後の課題等
小学校施設維持管理業務 (教育総務課)	A	老朽化による施設補修は当然のことで、時代や近年の自然環境に即した教育環境の整備が必要である。 施設の部分補修だけにとどまらず、建て替えも含めた計画的な大規模改修が必要である。
中学校施設維持管理業務 (教育総務課)	A	老朽化による施設補修は当然のことで、時代や近年の自然環境に即した教育環境の整備が必要である。 施設の部分補修だけにとどまらず、建て替えも含めた計画的な大規模改修が必要である。
幼稚園施設維持管理業務 (教育総務課)	B	施設の部分補修だけにとどまらず、耐震化も含め今後の施設の維持管理を検討することが必要である。

4. 外部評価(施策展開上の留意点)

事業名 (担当課)	評価
小中学校等の施設維持管理事業 (教育総務課)	小・中学校施設の耐震化については、災害時の避難場所としての機能もあり、市民の関心も高く、児童・生徒の安全に関わる重要な事業であるが、当初の計画どおりすべて完了したことはたいへんすばらしいことで、評価に値する。また、小学校の全校にシャワー室が完備されたことも評価される。 今後は、幼稚園も含め、市内の子どもたちが快適な環境のもと、学校(園)生活が営まれるよう、老朽化による施設補修等維持管理も含め、要望を聞きながら検討する必要があると思われる。

大和郡山市 教育行政 点検評価シート

1. 第3次総合計画(前期基本計画 平成18年～22年度)における位置付け

章	3.市民が子供を産み育てやすいまち(子育て・教育)	▼
節	02.子どもがいきいきと学べる教育環境づくり	▼
施策	07.児童が安全で美味しい給食を食べ、食に対して正しい知識を身につけている	▼

2. 前年度(平成22年度)の主な取組み

事業名 (担当課)	前年度(平成22年度)取組み	
	事業概要	実績
給食調理事業 (学校給食事務所)	学校給食調理	市内11小学校 年間181日 1日約5,150食
学校給食管理運営事業 (学校給食事務所)	学校給食の円滑な運営	学校給食運営委員会総会 年2回 献立編成委員会 年5回 物資納入者選定委員会 年5回 調査研究委員会 年1回
中学校弁当配食事業 (学校給食事務所)	中学校へ弁当の配食	市内5中学校 実施日数176日 配食数3,040個 1日平均個数17.3個 全体利用率0.70% (生徒0.36%教諭4.92%)

3. 評価および今後の課題等

事業名 (担当課)	評価	今後の課題等
給食調理事業 (学校給食事務所)	B	小学校給食の献立がセンターにより異なり、公平を保つため毎学期配送校を交代している状況であるため、小学校の統一献立の実施と配送校の固定化が最重要課題である。 また、食に関する指導の充実や学校給食を通じて、児童が食に対する正しい知識を取得できるよう、食生活に関する指導を充実する必要がある。
学校給食管理運営事業 (学校給食事務所)	B	衛生管理を徹底し、栄養バランスのとれた安全でおいしい給食を効率的に提供し、地産地消事業に積極的に取り組む必要がある。
中学校弁当配食事業 (学校給食事務所)	B	家庭から弁当を持ってこられない生徒に栄養のバランスに配慮した弁当の配食に努める必要がある。(平成20年5月実施の中学校配食弁当アンケート調査によると学校での昼食は家から持参が98%を占めていた。)

4. 外部評価(施策展開上の留意点)

事業名 (担当課)	評価
給食調理事業 (学校給食事務所)	施設、設備の関係で献立が異なっているが、センターそれぞれの特色をより以上に出した献立を作成し、提供していくことが大切である。しかし、限られた施設、調理員で事故もなく、食育指導にも力を入れており評価ができる。
学校給食管理運営事業 (学校給食事務所)	地場産物の活用にも積極的に取り組んでおられるが、今後もより以上の取り組みを期待する。
中学校弁当配食事業 (学校給食事務所)	家庭からの弁当持参者が98%と多く保護者の努力がうかがわれる。しかし、持って来られない生徒もあり、今後も続けていってほしい。また、今後の中学校給食の必要性については、再度検討する必要がある。

大和郡山市 教育行政 点検評価シート

1. 第3次総合計画(前期基本計画 平成18年～22年度)における位置付け

章	3.市民が子供を産み育てやすいまち(子育て・教育)	▼
節	03.子どもが安全に暮らせる地域環境づくり	▼
施策	01.子どもにとって安全なまちになっている	▼

2. 前年度(平成22年度)の主な取組み

事業名 (担当課)	前年度(平成22年度)取組み	
	事業概要	実績
通学路看板設置事業 (スポーツ健康課)	通学路への注意指示看板設置・維持管理	通行車両注意喚起の巻き看板を電柱に設置 老朽化看板の取替修理 新規設置数 35枚 年度末総枚数 354枚
通学路照明灯設置事業 (スポーツ健康課)	通学路への照明灯設置・維持管理	主として、付近に人家のない中学校通学路に設置 既設灯の電球・器具交換修理、電気代支払 新規設置数 7本 年度末総本数 482本

3. 評価および今後の課題等

事業名 (担当課)	評価	今後の課題等
通学路看板設置事業 (スポーツ健康課)	B	通学児童生徒等の交通安全対策として必要箇所に注意指示看板を設置しているが、歩道整備等の交通安全施設の改善には道路管理部署・警察等と連携し迅速に対応できる体制づくりが必要である
通学路照明灯設置事業 (スポーツ健康課)	B	通学児童生徒等の交通安全・防犯対策として必要箇所に照明灯を設置しているが、特に日常の防犯対策においては地域の協力を得るとともに関係部署と連携しながら総合的に子どもたちの安全安心な環境づくりを推進する必要がある

4. 外部評価(施策展開上の留意点)

事業名 (担当課)	評価
通学路看板設置事業 通学路照明灯設置事業 (スポーツ健康課)	子どもたちの安全安心な環境を整えるため、通学路における照明灯・看板設置等の交通安全対策が進んでいることを評価するとともに、今後も警察署や道路管理部局等の関連部署と連携し、地域の協力も得ながら、子どもが安心して生活できる環境づくりにより一層努められたい。

大和郡山市 教育行政 点検評価シート

1. 第3次総合計画(前期基本計画 平成18年～22年度)における位置付け

章	5.市民誰もがいきいきと元気で暮らしているまち(健康・福祉・生きがいづくり)	▼
節	04.市民が生きがいを持って暮らせる環境づくり	▼
施策	01.文化財が保護・継承されている	▼

2. 前年度(平成22年度)の主な取組み

事業名 (担当課)	前年度(平成22年度)取組み	
	事業概要	実績
埋蔵文化財発掘調査 (生涯学習課)	公共事業、民間開発事業に伴う事前調査を行い、記録保存の措置を講じる。国庫補助事業による範囲確認調査を実施し、遺跡の内容把握につとめ、保存と活用に向けた基礎的な資料を得る。	公共事業:平城京右京9条4坊15坪 民間開発事業:郡山城第67次 国庫補助事業:筒井城第15次
文化財図書刊行 (生涯学習課)	発掘調査報告書を刊行し、調査成果を公にする。市役所玄関ホール及び元気城下町プラザでの展示にあわせて普及啓発用のリーフレットを作成し、無償で配布する。	文化財調査報告書 第17集『菩提山』『遺跡第2次、額安寺第9・10次』、 同18集『額安寺宝篋印塔修理報告書』 リーフレット 『平城京西市』、『矢田丘陵の弥生時代遺跡』
史跡等清掃管理 (生涯学習課)	文化財として所有管理している遺跡、公園、塚などの除草、剪定作業を行い、良好な維持管理をはかり保護につとめる。	筒井城、小泉城、順慶歴史公園、額田部窯跡、親子塚、大納言塚などの剪定、草刈除草、樹木消毒などを実施した。
文化財補助 (生涯学習課)	市、県、国指定の文化財の保存修理事業等について、事業者の負担軽減をはかるために補助する。	薬園寺解体修理事業に伴い事業費の12パーセント3372千円を補助した。
歴史フォーラム (生涯学習課)	文化財に関する特定のテーマを取り上げ、講演やシンポジウムを行い、市民の方とともに考える。	第15回こおりやま歴史フォーラム『語りと民俗文化』を実施。 <語り>いなばの白うさぎ(平和小学校児童) <講演>奈良の民俗文化における語り 鹿谷勲(県立民俗博物館) <口演>語りの新しいかたち 宮澤廣年(大阪児童文化協会)

3. 評価および今後の課題等

事業名 (担当課)	評価	今後の課題等
埋蔵文化財発掘調査 (生涯学習課)	B	民間開発については事業者には調査費用の負担を求めるのが年々困難になってきているので、負担軽減を図る必要がある。文化財保護側で一定の割合を負担するなどの措置を考える必要がある。
文化財図書刊行 (生涯学習課)	B	遺跡を発掘しても報告書が刊行されていない事例が多い。出土遺物の整理体制を整え、速やかに報告書を刊行できる状況にする必要がある。普及教育用図書についても刊行不足は否めない。
史跡等清掃管理 (生涯学習課)	B	草刈などの作業を増やし、さらに良好な維持管理を図ることが必要である。あわせて案内板やフェンスなども整備、改修する必要がある。
文化財補助 (生涯学習課)	B	補助率を逡減することなく所有者の負担軽減を図りたい。
歴史フォーラム (生涯学習課)	B	資料集なども年々貧相になってきている。普及啓発の核となる事業であり、予算の増額が必要である。

4. 外部評価(施策展開上の留意点)

事業名 (担当課)	評価
歴史フォーラム (生涯学習課)	西暦712年、古事記が完成した。その編纂に大きな役割を果たした稗田阿礼は本市稗田町付近がその本貫地であったと推定されている。また、現在の賣太神社は稗田阿礼を祭神として祀っており、阿礼祭という行事も昭和5年から続けられている。本市では2012年から古事記1300年紀事業に取り組まれる計画であり、観光振興にもつながるような企画を検討してほしい。

大和郡山市 教育行政 点検評価シート

1. 第3次総合計画(前期基本計画 平成18年～22年度)における位置付け

章	5.市民誰もがいきいきと元気で暮らしているまち[健康・福祉・生きがいづくり]	▼
節	04.市民が生きがいを持って暮らせる環境づくり	▼
施策	02.市民の芸術文化活動が盛んになっている	▼

2. 前年度(平成22年度)の主な取組み

事業名 (担当課)	前年度(平成22年度)取組み	
	事業概要	実績
記憶力大会 (生涯学習課)	稗田町の出身である稗田阿礼が抜群の記憶力を活かして古代の様々な伝承を記憶し、日本最古の歴史書である古事記の編纂等に大きな役割を果たして歴史に名を遺した。この歴史遺産を次世代に受け継ぎ、現代の稗田阿礼を発掘、育成することを目的に、記憶力大会を開催する。	平成23年2月6日(日) 会場:やまと郡山城ホール(大ホール) 参加:262名 競技の部 216名 自慢の部 22名 選手権大会24名
芸能文化協会支援 (生涯学習課)	この協会は舞踊部、邦楽部それぞれ39の団体で構成され、活動を通じて広く市民に芸能文化の普及と啓発を行い、本市芸能文化の発展、向上に寄与することを目的として、主に春と秋に芸能祭を開催している。	会場:やまと郡山城ホール(小ホール) 春の芸能祭 第34回 4月3日(土)・4日(日) 秋の芸能祭 第57回 10月30日(土)・31日(日)
文化芸術活動振興 (生涯学習課)	文化会館管理運営を(財)文化体育振興公社に委託 コンサート等自主事業・貸館事業を実施し、文化芸術の振興を図る。	利用延べ件数 2,959件 利用延べ人数 250,474人 鑑賞事業 主催 12事業 共催 13事業 参加・育成等事業 主催 9事業 共催 3事業
大和郡山市芸術祭事業 (中央公民館)	絵画・書道・工芸・写真の4部門の作品を公募し、各部門審査委員による審査の後、10月末から11月初めの5日間入選作品を展示。併せて茶華道協会による華道展も実施する。	出品点数 310人 入選点数 298人 無鑑査 2人 招待作家 20人 審査員 14人 5日間延べ入場者数 2,206人

3. 評価および今後の課題等

事業名 (担当課)	評価	今後の課題等
記憶力大会 (生涯学習課)	A	記憶力大会について、県内はもとより県外へも広く周知を図り、全国的なイベントとしての位置づけを進めるなど、大会の発展に努めていく必要がある。
芸能文化協会支援 (生涯学習課)	B	市民の自主的な芸術文化活動団体の育成に一層努めていく必要がある。
文化芸術活動振興 (生涯学習課)	B	やまと郡山城ホールのより一層の利用促進を図り、芸術文化の振興を図っていく。
大和郡山市芸術祭事業 (中央公民館)	B	芸術祭の出品者を増加するように、なお一層のPRを図り努力していく。

4. 外部評価(施策展開上の留意点)

事業名 (担当課)	評 価
記憶力大会 (生涯学習課)	市外からの参加も多数あることは市のPRにもなり良いことではあるが、より一層市民の参加を促すことも重要なことであるので、その点に配慮して取り組んでほしい。
大和郡山市芸術祭事業 (中央公民館)	毎年、芸術祭を開催され芸術活動を通して、芸術の振興に支援されていることは、評価に値する。今後も出品者増に向けて、なお一層の努力を願いたい。

大和郡山市 教育行政 点検評価シート

1. 第3次総合計画(前期基本計画 平成18年～22年度)における位置付け

章	5.市民誰もがいきいきと元気で暮らしているまち(健康・福祉・生きがいづくり)	▼
節	04.市民が生きがいを持って暮らせる環境づくり	▼
施策	03.市民の生涯学習活動が盛んになっている	▼

2. 前年度(平成22年度)の主な取組み

事業名 (担当課)	前年度(平成22年度)取組み	
	事業概要	実績
女性学級等 (生涯学習課)	女性学級・移動公民館学級・生活学校がそれぞれ年間8～10回程度学級を開催し、学習や活動を通じ教養を高める。	各学級に委託 ・女性学級 4学級 ・移動公民館学級 8学級 ・生活学校 1校
家庭教育学級 (生涯学習課)	家庭生活や、子どもの学習・生活上の問題等について話し合い、個人個人が抱えている不安や悩みを共に解決したり、自己実現を図ったりするための学習の場をつくる。 年間8～10回程度開催。	各学級に委託 各幼小中 26学級
郡山女性ネットワーク 支援 (生涯学習課)	主催事業である「女のまつり」などの事業を通じ、情報交換や親睦を図りながら教養を高め、女性の社会進出や地域社会の活性化に寄与することを目指し活動を行う。	第20回郡山女のまつり ふることぶみ1300年 語りつごう「大和心」 ～親から子、子から孫へつなぐ思いやり～ 日時:平成23年2月27日(日) 場所:郡山城址一帯 主な内容:テーマ広場 楽市広場 特設ステージ あそびの広場 など
中央公民館管理運営 事業 (中央公民館)	中央公民館長の諮問機関である公民館運営審議会委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験者により15名で構成されている。	公民館運営審議会は、年2回開催。 県公民館大会(橿原市)・近畿公民館大会(和歌山市)に参加し、地域における社会教育活動の実践や研究成果を学び、今後の公民館活動の振興を図る機会としている。
各公民館主催講座 (成人)事業 (中央公民館・南部公民館・各地区公民館)	講座の企画・PR・募集・運営・事後評価を行う。 高齢者学級・歴史講座・文学講座・趣味講座・ヤングセミナー等を年間を通して実施。	おおむね各講座の定員をオーバーする応募があった。各分野で生涯学習意欲が、向上している。
各公民館主催講座 (子ども)事業 (中央公民館・南部公民館・各地区公民館)	講座の企画・PR・募集・運営・事後評価を行う。 少年少女合唱団・スポーツ教室・親子料理教室等を年間を通して実施。	おおむね各講座の定員をオーバーする応募があった。親子での参加が、増加傾向にあり家庭教育にも良好に反映している。

3. 評価および今後の課題等

事業名 (担当課)	評価	今後の課題等
女性学級 (生涯学習課)	B	学級生の高齢化が進んでおり、次世代へいかにつないでいくかその方策について検討が必要である。
家庭教育学級 (生涯学習課)	B	世代間交流を視野に入れた取り組みなど、学級活動の充実を図る必要がある。学級の運営等に対して指導、助言などを行える人材の確保に努めるなど、学級活動の活性化を図る必要がある。
郡山女性ネットワーク 支援 (生涯学習課)	B	会員の高齢化が進んでおり、次世代へいかにつないでいくか、またネットワークをいかに広げていくかその方策について検討が必要である。
中央公民館管理運営 事業(中央公民館)	B	公民館運営審議会の開催回数を増やす等、なお一層の公民館運営を発展するよう努力したい。
各公民館主催講座 (成人)事業 (中央公民館・南部公 民館・各地区公民館)	B	参加者の高齢化が進んでおり、今後も、参加者の希望を反映できるような講座を検討していきたい。また、若年層の参加できる斬新な講座も検討していきたい。
各公民館主催講座 (子ども)事業 (中央公民館・南部公 民館・各地区公民館)	B	少子化が進んでいる中、今後も小中学生が積極的に参加しやすい講座を検討する必要がある。

4. 外部評価(施策展開上の留意点)

事業名 (担当課)	評 価
女性学級・家庭教育 学級 (生涯学習課)	各学級を一本化してみるなど、活動が活発に行われるよう、行政からのより一層の支援を期待したい。
郡山女性ネットワーク 支援 (生涯学習課)	若い世代の加入に向けた取組を進められたい。
中央公民館管理運営 事業 (中央公民館)	公民館運営について、意見交換をされ社会教育活動の実践を図っておられることは、評価されるところである。今後も地域における社会教育活動を通して、より良い公民館運営に向けて、推進願いたい。
各公民館主催講座 (成人)事業 (中央公民館・南部公 民館・各地区公民館)	各公民館が多様なニーズに対応し、工夫を凝らして各種講座を開催されていることは、評価に値する。参加者の高齢化や講座のマンネリ化を解消する手法を研究努力し、若年層を取り込むには、より魅力的な講師の活用を検討することも必要である。
各公民館主催講座 (子ども)事業 (中央公民館・南部公 民館・各地区公民館)	各公民館が多様なニーズに対応し、工夫を凝らして各種講座を開催されていることは、評価に値する。少子化影響の中で、子どもたちにとって魅力のある講座を研究・工夫し参加意欲を高めることに一層の努力を期待したい。

大和郡山市 教育行政 点検評価シート

1. 第3次総合計画(前期基本計画 平成18年～22年度)における位置付け

章	5.市民誰もがいきいきと元気で暮らしているまち(健康・福祉・生きがいづくり)	▼
節	04.市民が生きがいを持って暮らせる環境づくり	▼
施策	04.市民の国際交流活動が盛んになっている	▼

2. 前年度(平成22年度)の主な取組み

事業名 (担当課)	前年度(平成22年度)取組み	
	事業概要	実績
国際交流 (生涯学習課)	教育・科学・文化を通じ諸国間の交流を図り、相互理解を深め、恒久的な世界平和に寄与することを目的として活動する奈良ユネスコ協会を支援する。	奈良ユネスコ協会の活動を支援するため補助金を交付した。

3. 評価および今後の課題等

事業名 (担当課)	評価	今後の課題等
国際交流 (生涯学習課)	C	市民が主体となった国際交流活動団体を支援し、市民が身近な国際交流活動に取り組むことができる環境を整える必要がある。

4. 外部評価(施策展開上の留意点)

事業名 (担当課)	評価
国際交流 (生涯学習課)	以前のような海外派遣や表敬訪問などは予算的にも厳しいと思われるが、在住外国人との交流を進めるなど、国際交流事業の推進に努められたい。

大和郡山市 教育行政 点検評価シート

1. 第3次総合計画(前期基本計画 平成18年～22年度)における位置付け

章	5.市民誰もがいきいきと元気で暮らしているまち(健康・福祉・生きがいづくり)	▼
節	04.市民が生きがいを持って暮らせる環境づくり	▼
施策	05.図書館が市民の生涯学習拠点になっている	▼

2. 前年度(平成22年度)の主な取組み

事業名 (担当課)	前年度(平成22年度)取組み									
	事業概要	実績								
図書館貸出事業 (図書館)	利用者の要求と関心及び地域社会の状況、蔵書構成等を考慮し、市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資する新鮮でかつ魅力的な資料を幅広く収集し、提供する。	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">蔵書数</td> <td>199,109冊</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>468,175冊</td> </tr> <tr> <td>来館者数</td> <td>390,119人</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>53,767人</td> </tr> </table>	蔵書数	199,109冊	貸出冊数	468,175冊	来館者数	390,119人	登録者数	53,767人
蔵書数	199,109冊									
貸出冊数	468,175冊									
来館者数	390,119人									
登録者数	53,767人									
子ども読書活動推進計画事業 (図書館)	平成20年度に行なった本計画の中間評価に基づき、引き続き学校・園・地域との連携を深める事業に取り組んだ。また、今までの活動の成果と課題を明らかにし、今後の計画の推進に向けたマニュアルづくりに取り組む。	子ども読書活動推進委員会を3回開催。ワーキンググループの学校連絡会及び地域連絡会をそれぞれ4回開催。学校図書室・読書ボランティア交流研修会を随時開催。								
図書館講座事業 (図書館)	親子を対象とした、わらべうたやおはなし音楽会など、身近に読書に親しめる講座を実施。	「おやこであそぼうわらべうた」、「こおりやま夏の金魚講座」、そして「クリスマスおはなし音楽会」など6回開催。								

3. 評価および今後の課題等

事業名 (担当課)	評価	今後の課題等
図書館貸出事業 (図書館)	B	利用者の生活に密着した地域の公共図書館としての役割を果たすべく、資料の収集・提供及び利便性の向上に努めたい。
子ども読書活動推進 計画事業 (図書館)	B	子どもたちが、身近で気軽に読書に親しむ環境の整備を推進するため、関係機関との連携及び情報提供等を積極的に行いたい。
図書館講座事業 (図書館)	B	図書館講座を通じて、大人にも子どもにも読書の楽しさ、大切さを伝えたい。また、学校や地域で活動するボランティアを支援したい。

4. 外部評価(施策展開上の留意点)

事業名 (担当課)	評価
図書館事業 (図書館)	図書館では様々な資料をそろえ、利用者の要求に応えていることは評価に値する。 しかし、インターネットをはじめ電子機器の普及により、子どもたちが図書館に足を運んだり、読書に親しむ機会が減っていることが、図書館利用の減少につながっている。本を手に取りページをめくれば、読書の楽しさを理解できるので、子どもたちや小さな子どもを持つ保護者にも本に触れる機会や読書の楽しさを伝える事業を継続してもらいたい。

大和郡山市 教育行政 点検評価シート

1. 第3次総合計画(前期基本計画 平成18年～22年度)における位置付け

章	5.市民誰もがいきいきと元気で暮らしているまち(健康・福祉・生きがいづくり)	▼
節	04.市民が生きがいを持って暮らせる環境づくり	▼
施策	06.市民がスポーツに親しんでいる	▼

2. 前年度(平成22年度)の主な取組み

事業名 (担当課)	前年度(平成22年度)取組み	
	事業概要	実績
各種競技スポーツ振興事業 (スポーツ健康課)	体育協会・武道振興会等委託の各種大会・教室の開催 【各種大会】 ・お城まつり武道大会 ・市民体育大会 ・市民陸上競技会 ・県民体育大会 ・市子ども駅伝大会 ・市民マラソン大会 外	事業参加者数 年のべ10,129名
軽スポーツ等振興事業 (スポーツ健康課)	体育指導委員指導による各種教室・大会等の開催 【各種教室・大会】 ・夏休みちびっこ体操教室(2会場・各3日間) ・トリスポーツフェスティバル(市民体力測定) ・秋季市民歩こう会 ・市民生涯スポーツ講習会 ・カローリング教室 ・カローリングカップ ・朝のラジオ体操 外	事業参加者数 年のべ4,910名
総合公園管理運営事業 (スポーツ健康課)	総合公園施設の管理運営・施設維持 大和郡山市文化体育振興公社に管理運営委託	施設維持のための日常修理を実施するとともに、球場系統漏水に伴う給水管布設替工事を実施 利用件数 8,483件 利用者数 159,016名
社会教育会館管理運営事業 (スポーツ健康課)	社会教育会館の管理運営・施設維持地元自治会等に管理運営委託 ＊椎木町社会教育会館は平成22年12月閉館	施設維持のための日常修理を実施するとともに、外壁等整備工事実施(額田部北・新庄・北矢田) 利用件数 9,688件 利用者数 160,802名
学校体育施設開放事業 (スポーツ健康課)	学校体育施設開放 土曜・日曜・祝日の各校体育施設を開放 遊び場開放 土曜日午前中の各小学校運動場を開放 ＊平成22年度は一部校を除き耐震工事のため5～9月開放中止	運営は各校の体育施設開放運営委員会に委託 利用件数 5,307件 利用者数 136,740名 見守り等業務をシルバー人材センターに委託 利用者数 1,642名

3. 評価および今後の課題等

事業名 (担当課)	評価	今後の課題等
各種競技スポーツ振興事業 (スポーツ健康課)	B	各競技の大会・教室への参加促進のためのPRを行うとともに、体力低下が指摘されている若年層を含めた市民各層が生涯をとおしてスポーツができるよう体育協会と連携し市民誰もがスポーツに参加しやすい環境づくりを推し進める必要がある
軽スポーツ等振興事業 (スポーツ健康課)	B	軽スポーツ教室等への参加促進のためのPRを行うとともに、市民誰もが自分のレベルに応じていつでもスポーツに参加できるように体育指導委員等と連携して総合型地域スポーツクラブを設立し、スポーツ振興の行政主導型から地域住民主導型への転換を図りながらスポーツにより多く接する機会の創設や環境整備をする必要がある
総合公園管理運営事業 (スポーツ健康課)	B	本格的に各競技のできる体育施設として大切に長期に使用していくために大規模修理・小規模修理を継続的・計画的に実施し適切な維持管理を行い利便性・安全性を高める必要がある
社会教育会館管理運営事業 (スポーツ健康課)	B	地域に密着した体育施設として大切に長期に使用していくために大規模修理・小規模修理を継続的・計画的に実施し適切な維持管理を行い利便性・安全性を高める必要がある
学校体育施設開放事業 (スポーツ健康課)	B	総合公園施設等社会体育施設の過密状態により利用できない団体に活動の場を提供するためにも、今後も適正に事業を継続する必要がある

4. 外部評価(施策展開上の留意点)

事業名 (担当課)	評価
各種スポーツ振興事業 体育施設管理運営事業 (スポーツ健康課)	市民が、どこでも誰でもスポーツに参加できるよう、軽スポーツ教室を開催するなどその普及に努められたことを評価するとともに、今後も体力低下が指摘されている若年層を含めた市民各層が、スポーツにより多く接してもらうための機会創設や環境整備に、より一層努められたい。また、施設の安全・セキュリティに注意されたい。

大和郡山市 教育行政 点検評価シート

1. 第3次総合計画(前期基本計画 平成18年～22年度)における位置付け

章	5.市民誰もがいきいきと元気で暮らしているまち(健康・福祉・生きがいづくり)	▼
節	05.人権文化の息づくまちづくり	▼
施策	03.人権教育の充実により人権文化が創造されている	▼

2. 前年度(平成22年度)の主な取組み

事業名 (担当課)	前年度(平成22年度)取組み	
	事業概要	実績
市人権教育推進事業 (人権施策推進課)	市人権教育推進協議会(45団体で構成)の会員が、市人推協が主催または共催する各種人権教育研修会に参加したり、研究大会を開催することにより市民の人権感覚を磨き、人権意識を深めると共に、人と人とのつながりを深めるために、あらゆる年齢層の人々到人権教育を推進する。	各種研修会(12回) 研究大会(3回) 地区別懇談会(25回) 人権いきいきさろん(6回)
子ども人権活動支援事業 (人権施策推進課)	市内3中学校区(片桐、郡山南、郡山西)の生徒を対象に各中学校区「子ども人権フォーラム」を実施し、子どもの人権意識の育成と社会性を培う。そのために、地域の行事に参加したり、ボランティア活動、避難所体験、野外活動、多文化交流活動を積極的に推進する。	片桐中校区(天理夜間中との交流・世代間交流・国際文化交流・野外活動体験・地域祭りの参加・ミートセンター見学・太鼓・文化活動交流会・うまいもんパーティー) 郡山南中校区(野外活動・避難所体験・保育園ボランティア・防災センター・外国文化体験) 郡山西中学校区(野外活動・防災センター・車いすバスケット・地域の祭り・保育園等ボランティア・料理体験)
人権教育資料「なかま」配布事業 (人権施策推進課)	小・中学校の児童生徒の人権問題に対する理解の向上及び人権教育の推進を図るため、人権教育資料「なかま」を配布する。	市内11小学校(1・3・5年生)、5中学校(1年生)に「なかま」を3,121冊を配布。

3. 評価および今後の課題等

事業名 (担当課)	評価	今後の課題等
市人権教育推進事業 (人権施策推進課)	B	大和郡山市総合計画(前期基本計画)に基づき、市人権教育推進協議会等が中心となり、関係団体と連携を図りながら、人権に関する各種講座・講演・地区別懇談会・フォーラム等の研修の機会や啓発活動を積極的に推進している。人権課題の克服に向けては、長期的なスパンにおいて地道な活動が必要である。
子ども人権活動支援事業 (人権施策推進課)	B	児童生徒が興味を持って楽しく人権学習に取り組めるよう、中学校区を対象に「子ども人権フォーラム」を通して、人権教育の内容を工夫しながら自尊感情を高めると同時に人間関係づくりに取り組んでいるが、現在3中学校区での事業となっている。また、校区によっては他校区と同一内容にもかかわらず参加者数が低迷しているという現状がある。全ての校区での実施と魅力ある学習内容の創造が必要とされる。
人権教育資料「なかま」配布事業 (人権施策推進課)	B	人権教育資料の配付だけにとどまらず、配布校での保管と有効な活用の推進が必要である。

4. 外部評価(施策展開上の留意点)

事業名 (担当課)	評価
人権教育推進事業 (人権施策推進課)	幼少期からの人権教育は、非常に意義のあるものである。また、すべての教育活動を含めあらゆる場所や機会を通じて人権意識の育成に務めていくことが大切である。人権は、一人ひとりが自分も大切にしながら、他人を思いやる優しい心を醸成する中で育まれる。そのような人権教育を関係機関と連携を密にして推し進めていただきたい。
人権教育資料「なかま」配布事業 (人権施策推進課)	「なかま」は、人権問題の理解や人権教育の推進のために作製された人権教育資料である。そのため、学校においては、各学年の年間指導計画にしっかりと位置付け、児童生徒の発達段階に応じて身の回りに発生する不合理矛盾や人権問題の正しい理解のために、道徳・学活の時間等において有効活用していただきたい。

●大和郡山市第3次総合計画に基づく教育関連の各課施策別事務事業一覧

担当課	事務事業コード	事務事業名
教育総務課	3020601	教育委員会運営事業
教育総務課	3020603	奨学資金貸付金
教育総務課	3020604	就園奨励事業
教育総務課	3020605	私立幼稚園経常経費補助事業
教育総務課	3020606	城址会館維持管理業務
教育総務課	3020607	小学校施設維持管理業務
教育総務課	3020608	中学校施設維持管理業務
教育総務課	3020609	幼稚園施設維持管理業務
学校教育課	3020101	児童・生徒教育振興事業
学校教育課	3020102	教科用図書採択事務事業
学校教育課	3020103	学校管理事務事業
学校教育課	3020104	大和郡山市教職員校(園)内研究推進奨励補助金交付事業
学校教育課	3020106	理科教育支援事業
学校教育課	3020107	特殊(特別支援)教育設備整備事業
学校教育課	3020108	指導用教材ソフト等整備事業
学校教育課	3020109	進路指導補助金交付事業
学校教育課	3020110	少人数学級編制推進事業
学校教育課	3020111	少人数指導推進事業
学校教育課	3020112	特別支援教育推進事業(学力向上支援事業)
学校教育課	3020113	大和郡山市指定研究校園研究事業
学校教育課	3020114	英語指導助手派遣事業
学校教育課	3020115	日本語指導派遣事業
学校教育課	3020116	小中学校コンピューター整備事業
学校教育課	3020117	クラブ活動支援事業
学校教育課	3020118	教育用消耗・設備整備事業
学校教育課	3020119	就学奨励費支給事業
学校教育課	3020120	夜間中学校関係事務
学校教育課	3020121	中学校生徒宿泊訓練事業
学校教育課	3020122	学校入学等事務事業
学校教育課	3020123	カプラ大会運営業務
学校教育課	3020125	学校支援地域本部事業
学校教育課	3020201	障害(特別支援)幼稚園児保育支援事業
学校教育課	3020202	市営幼稚園運営事業
学校教育課	3020401	不登校対策事業
学校教育課	3020402	小中学校児童・生徒指導研究事業
学校教育課	3020403	児童・生徒悩み相談事業
学校教育課	3020501	心身障害児童・生徒就学指導事業
学校教育課	3020502	ことばの教室教員派遣事業
学校教育課	3020503	特別支援教育支援員派遣事業
学校教育課	3020601	学校施設目的外使用事務事業
生涯学習課	1010301	親子まつり事業
生涯学習課	1010401	青少年リーダー研修事業
生涯学習課	3010101	放課後子ども教室
生涯学習課	3020301	新成人の集い「成人式」
生涯学習課	3020302	子ども会育成事業
生涯学習課	3020302	市PTA連合協議会支援事業
生涯学習課	3020303	科学教室開催事業
生涯学習課	3020304	子どもセンター事業
生涯学習課	3020306	青少年センター運営事業
生涯学習課	3020307	青少年非行防止事業
生涯学習課	3020308	青少年相談事業
生涯学習課	3020309	青少年安全事業
生涯学習課	5040201	地域芸能・伝統文化継承事業
生涯学習課	5040202	文化芸術活動振興事業
生涯学習課	5040301	女性学級事業
生涯学習課	5040302	郡山女性ネットワーク支援事業
生涯学習課	5040303	家庭教育学級事業
生涯学習課	5040101	埋蔵文化財発掘調査事業

担当課	事務事業コード	事務事業名
生涯学習課	5040102	文化財図書刊行事業
生涯学習課	5040103	歴史フォーラム事業
生涯学習課	5040104	史跡等清掃管理事業
生涯学習課	5040105	文化財補助事業
生涯学習課	5040106	市史編集事業
生涯学習課	5040401	国際交流事業
少年自然の家	3020301	少年自然の家維持管理事業
少年自然の家	3020302	少年自然の家管理運営事業
少年自然の家	3020303	少年自然の家宿泊事業
少年自然の家	3020304	少年自然の家主催事業
スポーツ健康課	3010401	就学援助事業
スポーツ健康課	3010402	学校児童校内安全事業
スポーツ健康課	3010403	園児・児童・生徒保健事業
スポーツ健康課	3010404	教職員検診事業
スポーツ健康課	3030101	通学路看板設置事業
スポーツ健康課	3030102	通学路照明灯設置事業
スポーツ健康課	5040601	学校体育施設開放事業
スポーツ健康課	5040602	武道場管理運営事業
スポーツ健康課	5040603	総合公園管理運営事業
スポーツ健康課	5040604	グラウンド管理事業
スポーツ健康課	5040605	社会教育会館管理運営事業
スポーツ健康課	5040606	社会教育会館整備事業
スポーツ健康課	5040607	各種競技スポーツ振興事業
スポーツ健康課	5040608	軽スポーツ等振興事業
スポーツ健康課	5040609	小中学校スポーツ振興事業
学校給食事務所	3020701	給食調理事業
学校給食事務所	3020702	給食事務所維持管理事業
学校給食事務所	3020703	給食配送・配膳事業
学校給食事務所	3020704	給食物資購入事業
学校給食事務所	3020705	学校給食管理運営事業
学校給食事務所	3020706	給食献立表作成事業
学校給食事務所	3020707	学校給食用パン包装事業
学校給食事務所	3020708	学校給食用牛乳供給事業
学校給食事務所	3020709	中学校弁当配食事業
学校給食事務所	3020711	学校給食センター第2建設事業
学校給食事務所	3020712	学校給食食育推進事業
中央公民館外5館	1010301	各公民館祭支援事業
中央公民館	1010302	中央公民館クラブ活動振興事業
中央公民館外5館	1010401	各公民館施設貸与事業
中央公民館外5館	1010402	各公民館施設維持管理事業
中央公民館	5040201	中央公民館芸術祭(市展)事業
中央公民館	5040301	中央公民館管理運営事業
中央公民館外5館	5040302	各公民館主催講座(成人向)事業
中央公民館外5館	5040303	各公民館主催講座(子ども向)事業
中央公民館外5館	1010403	各公民館クラブ登録・活動支援事業
南部公民館外1館	1010404	南部公民館・片桐公民館喫茶コーナー運営事業
南部公民館外4館	5040303	南部公民館外4館図書コーナー運営事業
図書館	5040501	図書館管理運営事業
図書館	5040502	図書館貸出事業
図書館	5040503	図書館維持管理事業
図書館	5040504	子ども読書活動推進計画事業
図書館	5040506	リ・ブックフェア
図書館	5040507	読書講座事業
人権施策推進課	5050310	各種教室事業
人権施策推進課	5050311	人権啓発事業
人権施策推進課	5050312	市人権教育推進事業
人権施策推進課	5050313	人権教育事業
人権施策推進課	5050314	子ども人権活動支援事業
人権施策推進課	5050315	人権テキスト「なかま」配布事業
人権施策推進課	5050317	市民相談事業